

予算審査特別委員会（第三分科会）

平成24年6月11日（月曜日）午前10時開会

出席委員（7名）

|     |        |      |       |
|-----|--------|------|-------|
| 委員長 | 齋藤寿一君  | 副委員長 | 眞壁俊郎君 |
| 委員  | 松田寛人君  | 委員   | 中村芳隆君 |
| 委員  | 東泉富士夫君 | 委員   | 相馬義一君 |
| 委員  | 菊地弘明君  |      |       |

欠席委員（なし）

紹介議員（なし）

説明のための出席者

|                          |        |                          |       |
|--------------------------|--------|--------------------------|-------|
| 生活環境部長                   | 長山治美君  | 環境管理課長                   | 中山雅彦君 |
| 環境管理課長<br>補佐             | 相馬一男君  | 環境企画係長                   | 亀田康博君 |
| 環境衛生係長                   | 大澤博美君  | 環境対策課長                   | 橋本悟君  |
| 環境対策課長<br>補佐兼廃棄物<br>対策室長 | 神島智行君  | 公害対策係長                   | 小高祐一君 |
| 廃棄物対策室<br>一般廃棄物担当<br>副主幹 | 大金廣志君  | 廃棄物対策室<br>産業廃棄物担当<br>副主幹 | 山崎弘一君 |
| 那須塩原<br>クリーンセンター<br>所長   | 茂呂幸利君  | 那須塩原<br>クリーンセンター<br>清掃係長 | 室井勉君  |
| 生活課長                     | 大島厚子君  | 生活課長<br>補佐兼<br>生活安全係長    | 菊地広幸君 |
| 消費生活係長                   | 君田まち子君 | 消費生活<br>センター所長           | 印南洋子君 |
| 産業観光部長                   | 斉藤一太君  | 農務畜産課長                   | 川嶋勇一君 |
| 農務畜産課長<br>補佐             | 稲見一美君  | 農務畜産課<br>主幹              | 大武康弘君 |
| 農業振興係長                   | 相馬和男君  | 畜産振興係長                   | 織田智富君 |
| 堆肥センター<br>所長             | 金田文男君  | 農林整備課長                   | 高久清一君 |

|                          |             |                                    |
|--------------------------|-------------|------------------------------------|
| 農林整備課長<br>補佐兼<br>農村整備係長  | 邊 見 修 君     | 林務係長 大 森 貢 君                       |
| 地籍調査係長                   | 伊 藤 隆 君     | 商工観光課長 佐 藤 章 君                     |
| 商工観光課長<br>補佐兼<br>商工係長    | 印 南 良 夫 君   | 観光係長 高 根 沢 威 夫 君                   |
| 雇用推進室長                   | 宇 都 野 淳 君   | 雇用推進室<br>農観商工連携<br>担当副主幹 栗 野 誠 一 君 |
| 雇用推進室<br>企業立地担当<br>副主幹   | 渡 辺 直 次 郎 君 | 農業委員会<br>事務局長 成 瀬 充 君              |
| 農業委員会<br>事務局長補佐<br>兼農政係長 | 八 木 沢 一 志 君 | 農地係長 三 輪 敦 君                       |

出席議事事務局職員

書 記 若 目 田 治 之 君

議事日程

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 審査事項

〔農業委員会事務局〕

・農業委員会事務局長あいさつ・職員紹介

予算審査

・議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算(第1号)

〔生活環境部〕

・生活環境部長あいさつ・職員紹介

予算審査

・議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算(第1号)

(生活環境担当：環境管理課、環境対策課、生活課)

〔環境管理課〕

・議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算(第1号)

〔環境対策課〕

・議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算(第1号)

〔生活課〕

・議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算(第1号)

・その他

〔産業観光部〕

・産業観光部長あいさつ・職員紹介

〔農務畜産課〕

職員紹介

予算審査

・議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算(第1号)

・その他

〔農林整備課〕

職員紹介

予算審査

・議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算(第1号)

・その他

〔商工観光課〕

職員紹介

予算審査

・議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算(第1号)

・その他

4. その他

5. 閉会

開会 午前10時00分

### 開議の宣告

齋藤委員長 おはようございます。

定刻をちょっと5分ほど早いんですが、全員おそろいですので、ただいまから始めたいというふうに思います。

本日招集となりました当産業環境常任委員会に出席を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

何かともう梅雨入りが始まったという知らせが来ておりますけれども、皆さんにおかれましては大変体調を崩されないよう、そしてともどもお忙しい中を過ごしているというふうに思いますけれども、我々の本委員会に付託された本定例会においては、条例、陳情等は先日もお話したようにありませんので、平成24年度一般会計補正予算のみとなりますので、予算審査特別委員会として審査を行います。

各委員におかれましては、慎重なる審議をお願いするとともに円滑な進行のご協力をお願い申し上げます。あいさついたしますけれども、きょうの日程といたしましては、分けてですね、午後1時から産業観光部の設定をいたしましたので、午前中たくさん時間ございますので、審議のほうをよろしくお願い申し上げます。あいさつにかえさせていただきます。よろしくどうぞお願いいたします。

### 産業観光部の審査

齋藤委員長 それでは、初めに農業委員会事務局長からあいさつをいただき、職員の紹介もお願いしたいというふうに思います。

藤田農業委員会事務局長（挨拶。）

齋藤委員長 ありがとうございます。

### 議案第59号の上程、説明、質疑、討論、採決

齋藤委員長 それでは、審査に入ります。

議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

藤田事務局長。

藤田農業委員会事務局長（議案第59号について説明。）

齋藤委員長 説明が終わりました。

各委員から質疑、ご意見等をお受けしたいというふうに思います。

菊地委員。

菊地委員 1点だけ、すみません。

この農業委員さんの視察という、先進地というのはどういうところを研修するのでしょうか。

齋藤委員長 藤田局長。

藤田農業委員会事務局長 先ほど、21年に農地法の改正があったというふうな話をしたかと思いますが、1番の農業委員会のやり方とかというふうな部分で変わったところがあるかと思いますが、それは、1つは遊休農地の調査なんかは今までしていなかったと思います。それがちょっと地元の調整とか、そういうふうな中でうまくやっているとか、あるいは台帳関係もかなり細かくつくるような形になっていますので、そういうふうな部分での中身を視察させていただくというふうなことがメインになるかと思います。

菊地委員 わかりました。

齋藤委員長 ほかに質疑、ご意見等ございますか。

〔発言する人なし〕

齋藤委員長 ないようですので、質疑、ご意見等を終了したいと思います。異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 異議ないものと認めます。よって、討論を行います。

討論はございませんか。

〔「省略」と言う人あり〕

齋藤委員長 ないようですので、討論を終結したいと思います。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 異議ないものと認め、討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算（第1号）については、原案のとおり可決すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 議案第59号については原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他

齋藤委員長 次に、その他に入ります。

執行部から、その他で何かございますか。

〔「別に あるものはございません」と言う人あり〕

齋藤委員長 それでは、皆さんのほうから、委員のほうからは何かございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

齋藤委員長 それでは、農業委員会事務局の審査を終了いたします。

ここで、執行部の入れかえのため暫時休憩いたします。大変ご苦労さまでした。

休憩 午前10時07分

再開 午前10時10分

齋藤委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

生活環境部の審査

齋藤委員長 次に、生活環境部所管の審査に入ります。

初めに、生活環境部長からあいさつをいただき、職員の紹介をお願いいたします。

長山生活環境部長（挨拶。）

（出席説明員自己紹介。）

齋藤委員長 ありがとうございます。

それでは、審査に入ります。

議案第59号の上程、説明、質疑、討論、採決

齋藤委員長 議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

中山環境管理課長（議案第59号について説明。）

橋本環境対策課長（議案第59号について説明。）

大島生活課長（議案第59号について説明。）

齋藤委員長 説明が終わりました。

各委員から質疑、ご意見等をお受けしたいとい

うふうに思います。

副委員長。

眞壁副委員長 今回肉づけ予算ということで、補助金の関係なんです、個別にいろいろ交渉していききたいということではありますが、その中で減らされている分がほとんどかと思うんですけれども、どんな状況でどんな要求とか意見とか、もしあったらお伺いしたいんですけれども、各種団体。

齋藤委員長 橋本環境対策課長。

橋本環境対策課長 まず、環境保全総務費、先ほど環境管理課のほうから説明があったんですが、具体的な内容として環境対策課のほうでも絡んでおりますので、それについては約1割減の112万円ほど減額されております。

特にこのことについて、これは産廃の関係の活動をやっている事業なんです、基本的に同額という話はあったんですけれども、今年度こういう形で提示された中で、とりあえず今回はこれで進めていこうというような形で、特に大きなお話にはなっていない状況があります。

それから、あと 補助金が、環境対策課では、9ページのごみ減量化対策事業、101事業、那須塩原市をきれいにする市民運動という形で、これも14万9,000円ほど減額になっているんですけれども、これについては前年度の繰り越しが幾らかありまして、今年度についてはそれに対応ができそうだということで、これについても特に今のところ問題はないというか、大きな話しにはなっておりません。

集団資源回収についての補助金は、環境対策課でも大いに今後力を入れていかなきゃならない事業でありますので、これについてはむしろ今後ふやしていきたいというふうには考えておりますけれども、今年については前年度実績という形で、1回は補正予算を上げさせていただきました。

以上です。

齋藤委員長 大島課長。

大島生活課長 それでは、生活課のほうをお話し申し上げます。

4ページになりますが、中段、交通安全のほうの補助金もちろ減らされております。交通安全母の会 当初予算が9万円でしたが、1万4,000円減というふうな形になっております。

交通安全関係の推進、啓発云々、団体さんのほうでご尽力いただいているというふうな形になりますが、具体的には母の会につきましては、子どもたちに反射シールを配布しているというふうな部分がありまして、限られた金額の中で配布、ことしもPRしていくというふうな形になるかと思っております。

また、バンビクラブにつきましても、PR用で各管理団体のほうに啓発用のぼり旗等を配布しているところですが、その辺につきましても、その辺の部分減額していくというふうな形で、特に団体のほうからの意見等は、細かい点についてはちょうどいいしておりません。

また、13ページの消費者行政のほうの団体につきましては、消費生活推進の中については4万円の減というふうな形、4,000円の減、生活学校については3,000円の減というふうな形になっておりまして、生活学校については特に金額が少ないものですから、その中の3,000円でも痛いというふうには聞いているところでございまして、廃品回収等も各会員さんでやって、運営費のほうにふやしていくかというふうな形で会員さんからは聞いております。

以上です。

齋藤委員長 副委員長。

眞壁副委員長 内容的にはわかりました。減等はある程度ないというふうな理解でよろしいかと思

います。

結構です。

齋藤委員長 そのほか委員から。

菊地委員。

菊地委員 8ページの公害対策推進事業ですけれども、県から移行されたということで4,000円ほどと言うんですけれども、この4地点というのが、今まで県がやっていたところと同じところじゃなくて、市独自で設定をしてやる地点なんですか。

齋藤委員長 橋本課長。

橋本環境対策課長 この地点なんですけど、今まで県がずっと四、五年サイクルぐらいで場所をぐるぐる回していたものがあるんですね。それを引き続いて市のほうがやっっていこうという形になりますので、今年は県が行う予定であったものの4地点を候補地に挙げるというふうに思っております。

齋藤委員長 菊地委員。

菊地委員 ちなみにどこなの。

小高公害対策係長 400号と、あと板室街道ですね、県道の何って言うんでしたっけ、正式名称何て言うんでしたっけ、板室街道なんですけれども、あと鍋掛の街道ですね、黒磯くろばね線、もう1カ所が、ちょっと忘れてしまいましたけれども、県道のもんです。

それじゃ後ほど、こっちは。

齋藤委員長 菊地委員。

菊地委員 4ページのこの防犯対策費なんですけれども、LED620万円ついてついてるんですけれども、これ何灯ぐらいの予定でやったんですか。

齋藤委員長 大島課長。

大島生活課長 すみません、説明しませんでした。

200基を考えております。地区ごとに200基。ごめんなさい、すみません、100基ですね、失礼しました。黒磯地区には大体試算では60基、西那須

野地区が30基、それと塩原地区が10基で、合計100基というふうな形でございます。

以上です。

齋藤委員長 よろしいですか。

中村委員。

中村委員 ちなみに今の追加なんですけど、100基の中でこれをLED防犯灯設置で旧台のものを全部取りかえていくのか、それとも新規の注文に対してつけていくのか。

それと、ことしは100基ですけれども、来年もずっと継続的に全部入れかえていくんですというのが基本的なのか。

齋藤委員長 大島課長。

大島生活課長 先ほど100基と申し上げましたのは、新規で100基というふうな数でございます。

それと、取りかえについては100基ということで、合計して200基、申しわけございませんでした、間違えました。やっているところでございます。

それで、今後引き続きという部分なんですけれども、大体ペースでいくと、かなり7,000基以上あるもんですから、100年近くのような感じになってきちゃう部分があるんで、それではちょっと無理だということで、計画的に短期間でやれないかということで、今後の計画その辺の試算を当初予算前に、未ぐらいまでにちょっと計画つくっていかうかなというふうに考えているところでございます。

以上です。

齋藤委員長 菊地委員。

菊地委員 このLEDは条例つくったんでしたっけ、補助の。

齋藤委員長 大島課長。

大島生活課長 要項で、那須塩原市防犯灯設置費等補助金交付要綱がございまして、4月1日施行で2月8日告示ということで、改正は9年度でや

っております。通常の蛍光灯の防犯灯が1基当たり、今のところ1万5,000円、それと電柱なしのほうは2万7,000円、それとLED防犯灯のほうは、電柱ありのほうで、電柱ありと振りかえているんですね、2万5,000円。それと電柱なしが3万7,000円ということで、現在網で決まっているということでございます。

菊地委員 すみません、わかりました。

齋藤委員長 そのほか。

中村委員。

中村委員 先ほど車購入ということで2台、説明ありましたが、監視車は大体ホクのついたトラックなんていうことでイメージわいたんですが、この資源排出車という車は488万1,000円、どんな車なんですか。

齋藤委員長 所長。

茂呂那須塩原クリーンセンター所長 この2トンの平ボディなんです、主にこれは資源搬出車ということで、段ボールとか紙くずですね、それを に持っていくという形で考えております。

齋藤委員長 よろしいですか。

そのほか。

ほかにありませんか。

〔発言する人なし〕

齋藤委員長 それでは、ほかに質疑、ご意見等ないようですので、終了したいと思います、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 異議ないものと認めます。よって、討論を行います。

討論はございませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

齋藤委員長 ないようですので、討論を終結したいと思います。異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 異議ないものと認め、討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算(第1号)については、原案のとおり可決すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 議案第59号については原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他

齋藤委員長 次に、その他に入ります。

〔発言する人なし〕

齋藤委員長 それでは、以上で生活環境部所管の審査を終了いたします。

本日午前中の特別委員会の議事日程はすべて終了いたしました。

引き続き、午後1時から産業観光部所管の審査に入りますが、昼食のため暫時休憩といたします。お疲れさまでした。

休憩 午前10時54分

再開 午後12時59分

齋藤委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

産業観光部の審査

齋藤委員長 初めに、産業観光部長からあいさつをいただき、職員のご紹介をお願いいたします。

齋藤産業観光部長。

齋藤産業観光部長（挨拶。）

（出席説明員自己紹介。）

齋藤委員長 ありがとうございます。

それでは、審査に入ります。

議案第59号の上程、説明、質疑、討論、採決

齋藤委員長 議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

川嶋課長。

川嶋農務畜産課長（議案第59号について説明。）

齋藤委員長 説明が終わりました。

各委員から質疑、ご意見等がありましたらお受けいたします。

東泉委員。

東泉委員 1ページのところで、農業費、の補助金の中に復興作業単独事業がありますね。そのカリウムというんですかね、科学的な効能というんですかね、その辺を少し

齋藤委員長 川嶋課長。

川嶋農務畜産課長 今年の2月ですか、土壌関係の、セシウム関係のモニタリングをやりまして、この那須塩原地域、それと那須、あと大田原の一部の地域が2,000ベクレルという基準を大幅に超えた土壌が確認された。それに伴って、今回セシウムの吸収を抑えるためのかわりとなるカリウムですね、塩化カリウムを施用することによりまして、セシウムよりもカリウムを優先的に水稻または大豆等について吸収するというので、農作

物に対しての放射能のセシウム等の濃度が低減されるという中で、の対策をするための補助金というんですか、計画に対しての支援金という形になります。

齋藤委員長 よろしいですか。

東泉委員 はい。

齋藤委員長 そのほか、よろしいでしょうか。

相馬委員。

相馬委員 先ほどの経営基盤強化促進対策、今、川嶋課長のほうから説明を終えた中で、これは多分今、実は動いている箇所はあるんですが、皆さんで力を合わせて、例の30町歩云々という話とはまた別なんですか、大きくするという、の。

齋藤委員長 川嶋課長。

川嶋農務畜産課長 それとは別だと私は思っております。いいですか。

齋藤委員長 相馬委員。

相馬委員 そうしますと、今説明ありましたように、集積すると、例えばこれ5反歩について30万という説明だったですよ。例えば2町歩と言ったほうがいいのか、そうすると、70万の補助がおりるという形、それは例えば私が隣の2町歩合わせて集積して、私が営農するとなると、それに対する補助が70万出るということなのか。

齋藤委員長 川嶋課長。

川嶋農務畜産課長 協力金という形なものですから、貸し手の農業者の方に、協力金という形で支援する。

齋藤委員長 相馬委員。

相馬委員 それじゃ、その後に出たのを5年継続して、毎年150万というんですか、それをもう一度ちょっと説明。

齋藤委員長 川嶋課長。

川嶋農務畜産課長 新しく今度例えば農業につくと、青年農業者ですけれども、その方に、ある程

度軌道に乗るまで年間150万円、最大で5年なんですけれども、それを交付した中で経営が安定するまで支援していきましょうということです。

齋藤委員長 相馬委員。

相馬委員 それは、担い手とは別に。

齋藤委員長 川嶋課長。

川嶋農務畜産課長 担い手とは別です。全く新しく新規就農するか、または今現在、例えば湘南の方が会社に勤めていて、その方がリターンで就農するという場合にも、あくまでもそれは経営的には独立していないと、この対象にはならないという形になりますけれども、経営があくまでも独立しているということでの対象になります。

齋藤委員長 相馬委員。

相馬委員 わかりました。

齋藤委員長 そのほか。

中村委員。

中村委員 農業振興費の中の車、リースから購入ということで、171万1,000円計上されておりますが、財政の意見でリースから購入ということみたいですが、リースが主力を占めている時代に入っているかというぐらいにリースが多いですよ。なぜこれ購入ということになったか、基本的な理由。

齋藤委員長 川嶋課長。

川嶋農務畜産課長 財政課のほうで、リース関係の経費と、あとは購入関係の経費ですね、それらを比較した中で購入して長く乗ったほうが経費的に安いという判断の中で、統一された中で今回の予算措置ということになっております。

齋藤委員長 中村委員。

中村委員 手入れをよくして、今の車はなかなか壊れないので、長く乗りたいと。そうしますと、全体的な市の車両は、もうすべて購入という形にこれから進むという解釈でいいですね。

齋藤委員長 川嶋課長。

川嶋農務畜産課長 はい、そのような解釈です。

中村委員 はい、了解しました。

齋藤委員長 そのほか。

副委員長。

眞壁副委員 今回の予算、骨格的予算の実行ということではありますが、補助金の関係で、前の骨格予算から各種団体と調整しているということで、今回肉づけ予算したと思うんですが、その辺の中で各種団体からの意見とか要望とか、そういうものがあつたかどうか、お願いいたします。

齋藤委員長 川嶋課長。

川嶋農務畜産課長 要望関係とか補助金関係がやはりありました。特に、今回計上しています病害虫防除関係の補助金関係なんですけれども、10ページの農作物被害対策事業関係の、特に病害虫防除対策協議会のほうでの無人ヘリの一斉防除の補助金関係がありますけれども、やはりそれが従来よりも1割とか2割、1割からの場合は15%アップという形のものですけれども、そうなりますと当然、散布の経費の一部を受益のほかの方が負担するということで、また昨年と同じような金額にできればお願いしたいという話と、あわせてその下の、野菜畑土壌消毒事業の支援補助金関係につきましても、塩原の団体、生産出荷組合団体があるわけなんですけれども、その団体の代表者の方から、やはり昨年と同じような金額の確保をお願いしたいというような要望書も出されています。

その中で当然担当としては、去年と同じ金額の中での要望をしたところなんですけれども、そういう形の中での予算措置という形になっております。

齋藤委員長 副委員長。

眞壁副委員 そうしますと、基本的には団体さん

のほうを理解したというような状況ではないんでしょうか。

齋藤委員長 川嶋課長。

川嶋農務畜産課長 説明しまして、全体的な補助金の考え方と説明して、こういう経費の中それぞれが同じような考え方で、今回節減するような形で流れるに、そういう形でなっているということなものですから、ある程度はやむを得ないということで、感触としては出ております。

齋藤委員長 副委員長。

眞壁副委員 しぶしぶ納得というような感じかなと思うんですけども、じゃあ今出た要望書というのは、単純にお金を去年と同じような形という要望書なんですか。

齋藤委員長 川嶋課長。

川嶋農務畜産課長 要望書が出ていますのは、先ほど言いました野菜関係の土壤消毒関係なんですけれども、それは昨年と同額について予算措置をお願いしているという内容のものです。

齋藤委員長 副委員長。

眞壁副委員 あと1点、農業公社のほうの職員1人増加という形で、これは最初から1人を予定しておったんですけど。

齋藤委員長 川嶋課長。

川嶋農務畜産課長 一応、今回組織の中では市の職員、そういう外郭団体の公社等につきましては、方針的には市の職員を引き上げているというような形で総務課で対応している最中だったんですけども、今回の当初の予定では、1人を残した中で引き上げるという方針であったわけなんですけれども、いろいろ事情等がありまして、やはり一遍に市の職員を一人にするには事務的に支障があるというような判断のもとで、事務的な業務もかなりふえているものですから、当初の考えから、ちょっと変更になって、これまでどおり1名、そ

のままに置くという形になったものと思っております。

齋藤委員長 副委員長。

眞壁副委員 そして今2名いるんですね。

齋藤委員長 川嶋課長。

川嶋農務畜産課長 事務局長と、あとは担当の事務職員ですね、2名です。

眞壁副委員 わかりました。

齋藤委員長 よろしいですか。

そのほか。

菊地委員。

菊地委員 8ページのほうの放射能対策事業、本議会の中で質問がありまして、部長の答弁があったんですけども、大変申しわけないんですけども、再度ご答弁をお願いしたい。

齋藤委員長 川嶋課長。

川嶋農務畜産課長 今回この交付金事業につきましては、県のほうに担当者のほうから、5月ですか話がありまして、こういう事業があっってお金がつきそうなので、何とか市の方で予算計上を6月のなかでお願いしたいという形の要望がありました。

その中で特に団体、農家5戸以上の団体に対して事業主体となった中での補助ということで、特にJA関係につきましては、広域にまたがっているということで、所在地のある那須塩原市で、那須塩原地区以外の方もJAの団体の取り扱いの面積という形の中で予算をあわせて計上してほしいという話がありました。

それと、商系関係のことですね、それが当初県のほうで要望がありましたのが、全部で4,000ヘクタールに対して、この課の施用をしてもらうということで、JAについては当初の予定では3,500ヘクタール、そのうち那須塩原市が1,500ヘクタール、大田原市につきましては、基準値の高い一

部なんですけれども、それが1,500ヘクタール、那須町が500ヘクタールという形で、JAのほうでは合計3,500ヘクタールを見込んでいる面積と。それと商系ですね、那須塩原市で中心になるいろんな肥料会社等があるかと思うんですけれども、それについては市内のみで500ヘクタールという形で、トータル4,000ヘクタール分の施用する面積について一応今回計上したということで、1ヘクタール2万円を組み込んだ中で8,000万円の計上ということになっております。

齋藤委員長 菊地委員。

菊地委員 私の聞き違いかな、本議会の中で2,000ヘクタールが水稻のとかっていうような……、

〔発言する人あり〕

菊地委員 じゃ、わかりました。

齋藤委員長 よろしいですか。

そのほかありますでしょうか。

〔「ありません」と言う人あり〕

齋藤委員長 先ほど1点だけ副委員長がご質疑したように、補助金の関係なんです、10ページの園芸作物の振興事業で夏秋どりイチゴの、これ例年出ているものでしょうけれども、生産施設費で今回6万円の減になったわけですね、補正の中で、当初これに関連した新規事業が2つありまして、夏秋どりイチゴの親株の購入費で2万6,000円、もう一つは、土壌の消毒費で5万3,000円が、全くゼロベースから今回の補正でもまたゼロということでカットされていますけれども、この辺は何か影響とか、そういうものの兼ね合いというのはあるんでしょうか。

川嶋農務畜産課長 当初予算の中では、この夏秋どりイチゴの生産拡大という中で、昨年までは施設を、例えばパイプハウスを設置したりという場合のみ補助という形をとっていたわけなんですけれども、

今年新たに生産拡大していくためには、それ以上に踏み込んだ中で支援していく必要があるんだろうということで、当初の親株の購入株、それと合わせて消毒関係ですか、それらについても支援していきましょうということで、当初は予算要求してきたわけなんですけれども、全体の中で財政課のほうとすれば、その補助金を弾力的に使ってくださいという考え方で私は理解しております、そういう面で、例えばパイプハウス関係の要望関係がなければ、まだ何点あるという形でこれから調査して希望をとるわけなんですけれども、なければ有効利用という形の中で、やはり目的は同じなものですから、親株の購入とか、それと消毒関係の一部補助のほうにも回した中で弾力的に使用させていただいた中で拡大を図ってきたいというふうに考えています。

齋藤委員長 了解しました。

それでは、そのほかありませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

齋藤委員長 ほかに質疑、ご意見等ないので、終了したいと思います。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 異議ないものと認めます。よって、討論を行います。

討論はございませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

齋藤委員長 ないようですので、討論を終結したいと思います。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 異議ないものと認め、討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算(第1号)については、原案のとおり可決

すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 議案第59号につきましては原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他

齋藤委員長 次に、その他に入ります。

それでは、農務畜産課の審査を終了いたします。

ここで、執行部の入れかえのため暫時休憩いたします。お疲れさまでした。

休憩 午後 1時37分

再開 午後 1時46分

齋藤委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

農林整備課の審査

齋藤委員長 農林整備課の審査に入りますが、その前に職員の紹介をお願いいたします。

高久農林整備課長（出席説明員紹介。）

齋藤委員長 ありがとうございます。

議案第59号の上程、説明、質

疑、討論、採決

齋藤委員長 それでは、議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

高久農林整備課長（議案第59号について説明。）

齋藤委員長 説明が終わりました。

各委員から質疑、ご意見等をお受けしたいというふうに思います。

副委員長。

眞壁副委員 今回の予算で肉づけということで補助金の関係なんです、各種団体と3月以降調整してきたと思うんですけども、その中でご意見とかご要望とか、もしあったらお伺いしたいんですが。

齋藤委員長 高久課長。

高久農林整備課長 一応今回の会計について、当初で骨格的予算ということで、その後今回の関係が肉づけということで、団体と十分に話をさせていただく中で、当然従来の金額から減るということで、若干戸惑いはあったんですが、やはり市の事情関係を察していただいて、やむを得ないというふうな形で、どの団体についてもご了解をいただいた範疇でございます。

眞壁副委員 はい、わかりました。

齋藤委員長 よろしいですか。

眞壁副委員 はい。

齋藤委員長 そのほか。

相馬委員。

相馬委員 松くい虫の件なんです、樹幹注入とありますが、この効果というのはどんなものなんでしょうか。現実に松くい虫は全然減らないですね。その効果というものをちょっとお聞きしたいんですが。

齋藤委員長 高久課長。

高久農林整備課長 4年に1度ずつローテーションをしながら、ですから4年に1回1つの木のほうに注入をするんですが、樹幹注入したから完全

に防げるかという、そういった形でなく、今の相馬議員さん言ったように若干その形であっても被害に遭っているというふうな形は見受けられるんですが、やはり効果としてはあるというふうな形の業界関係での報告があるものですから、やっていないところ、民間のやっていないところと比べると被害は少ないのかなというところで、データ、統計的にはちょっととっていないんですが、効果があるというふうな形で言われております。齋藤委員長 そのほか。ありませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

齋藤委員長 ないようですので、質疑、ご意見を終了したいと思います。異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 異議ないものと認めます。

よって、討論を行います。

討論はございませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

齋藤委員長 ないようですので、討論を終結したいと思います。異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 異議ないものと認め、討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算（第1号）については、原案のとおり可決すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 議案第59号につきましては原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他

齋藤委員長 次に、その他に入ります。

それでは、農林整備課の審査を終了いたします。ここで、執行部の入れかえのため暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時55分

再開 午後 1時57分

齋藤委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

商工観光課の審査

齋藤委員長 商工観光課の審査に入りますが、その前に職員の紹介をお願いいたします。

佐藤商工観光課長（出席説明員紹介。）

齋藤委員長 ありがとうございます。

議案第59号の上程、説明、質疑、討論、採決

齋藤委員長 それでは、議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

佐藤課長。

佐藤商工観光課長（議案第59号について説明。）

齋藤委員長 説明が終わりました。

各委員からご意見等をお受けいたしたいと思えます。

中村委員。

中村委員 単純な質問ですが、黒磯の盆踊りですね、あと花火大会等々の補助金が減額、巻狩り祭りも減額になっておりますが、この減額の理由、

「精査、精査」ということでございますが、減額になった理由を教えてください。

齋藤委員長 佐藤課長。

佐藤商工観光課長 この事業費、補助金の関係につきましては、一連の見直しという部分でありまして、10%から15%の間で見直しをされているということでございます。

そんな中で例年行われているという行事の中で、1割程度、お祭りにつきましては本当にちょうど1割減額ということで、これにつきましては実行委員会の中で調整をさせていただくところでございますけれども、ほかの団体等の特別な部分ではないということで、事業費の見直し、それからより効果が上がる産業のイベントとして構築するよというふうな意図があると聞いております。

齋藤委員長 中村委員。

中村委員 ある程度はそういったもので理解はできるんですが、そんな中で西那須野ふれあいまつり等々、また塩原温泉まつり、同じような祭りの中でそういったものは減額になっていないということも実際にあるということも事実でございますよね。今、課長の言われました趣旨見直しとか、事業等々と、いろんな準備費とか、そういったものがわかるわけなんです、減額どおりというものもあって、また見直しですよというご意見をくださいという、もう何十年も続いているものもある中で、これを第三者に公平性ですよと言って説明ができないものも出てくる可能性も、正直言って疑いがかかりますよというものも出てきた場合に、やっぱり説明責任というものをしっかりとっておかないと、私はいけないんじゃないかと思うので、そこら辺のところもしっかりと整合性をとった中で、やはり補助金の見直し等々についても市民に説明、またお願いする、お願いするじゃなくて相手に対応する場合ですね、そういったも

のをしっかりと理解をいただくということもこれから大事じゃなからうかと私は思いますので、そういった中で、緊縮財政の中でやっていかれることは確かに大事なことでありますので、今までこれ何十年もやっていたものが今回見直されたというのもあるでしょうし、本当に見ますと十数年同じ金額で来たものが急に切られたとか、確かにそういうことは大事であります、やはり市民全員が、これはやむを得ないんだというものに沿った中での理解度を深めるといったものにも、やっぱり注意した中で、そういった精査ということですか、課長からも部長からも、だれが聞いても「わかりました」というようなものに持って行っていただければというものを私も要望しておきたいと思います。

齋藤委員長 そのほか、ありますでしょうか。

副委員長。

眞壁副委員 今、中村委員からもあったんですが、補助金の関係で、これから肉づけるという形で、骨格予算から予算をつけてきたという中で、調整するということが減額になったのかなと思うんですけれども、そんな中で各種団体からのご意見とかご要望、どんなものがあつたかお願いしたいんですが。

齋藤委員長 佐藤課長。

佐藤商工観光課長 実際には、予算が決まらないことには、数字的なものは各団体には提示できないということではあります、今年に関しては3月で半分しかつかなかったということもありますので、継続的に事務方のほうでは予算要求して、それぞれの団体の活動に影響がない、大きな変革をお願いしなければならないということになりますように、事務的な部分では努力したいというお話はしております。

また、前回3月補正、3月の当初予算の議決の

後ですね、団体に説明を申し上げて市のほうの財政状況等々をご理解いただいたところでございます。

今回、補正予算の内容の中で説明申し上げますけれども、団体によりましては、既に新たな事業に取り組んで、その事業に対する補助金等の要求をしていきたいという抱負もあるところもございます。

それにつきましては、またその段階で十分に検討、事務局とも調整しながら対応していきたいと考えておりますが、さまざまな形でイベントがこれまでございまして、主宰しているイベントに私も、来賓ではありませんが、呼ばれたときにはやっぱりそれぞれの団体の構成員の方から何とかよろしくということを申し上げましたが、市長のイベントのときのあいさつの中でも、必要なところには極力つけていくということがありましたので、大きな混乱はなかったように思いますが、実際には1割ない1割5分、15%の減額になっておりますので、この辺は今後とも理解を求めながら、より地域の活性化につながる、経済の活性化につながるような観光振興につながる内容のもので支援していければと考えております。

齋藤委員長 副委員長。

眞壁副委員 わかりました。まさに今観光商工非常に厳しい状況なので、そういう意見があったと思いますが、新規事業につきましては、今後何かのときに考えるということではありますが、それは補正予算という意味でよろしいのでしょうか。

佐藤商工観光課長 はい。

齋藤委員長 そのほか。

菊地委員。

菊地委員 すみません、12ページの企業誘致事業なんですけれども、この企業誘致は、当市にとってどの辺のところに誘致しようとしているのか。

工業誘致については今現在、前からですけれども、非常に厳しい状況になっていると思うんですよ。

そういう中において、今の課長さんからもお話しありましたけれども、やはりその許可ですか、サービス業とかそういうところまで、本当に立ち入っていかないと、私はこれはなかなか実現が難しいんじゃないのかなと。ですから、当然そういうところまで、本当に早目にそういうところまでいって、そしてそういう門戸を開いた形で問いかけをしなければ、私はなかなかこういう工業は入ってこないんじゃないのかなと思うんですけれども、その辺のところの考えについてお尋ねをしておきます。

齋藤委員長 佐藤課長。

佐藤商工観光課長 4月1日から工業を推進するという中で企業誘致の担当を設けて対応しているわけですけれども、2カ月を経過しているということで。実際に工業団地として、用地を設けて売りに出しているという状況ではございませんので、こちらから足を運んで首都圏への売り込みといたしますが、そういう部分でアンテナを高くして行っていきたいということでございます。

実際には、今決まってここに来ますよという情報が手元にはないので、できればせつかく予算計上され、これが議決されれば、これを執行できるようなふうに持っていきたい。それなりの情報を集めて、なるべく皆様の雇用安定のために役立てるような工夫をもっとしていきたいというふうに考えております。

齋藤委員長 菊地委員。

菊地委員 はい、よくわかりました。

1点だけお聞きしたいんですけれども、例えば売り込みに行くのにも、例えばこの辺に来ていただきたいという、そういう土地はあるんですか。

齋藤委員長 佐藤課長。

佐藤商工観光課長 繰り返しになりますけれども、土地としてこれというものはございませんが、今後大型の遊休地、それから工場が撤退したところとか、そういう部分をデータとして取りまとめて、手持ちのカタログといえますか、メニュー表を整えた上で、首都圏なり近隣の企業にアピールするというような考え方もございます。

菊地委員 わかりました。

齋藤委員長 そのほか質疑、ご意見等ございますか。

副委員長。

眞壁副委員 今、菊地委員からあった関係で、雇用推進室ですか、7つの業務を具体的にどの辺をやるのかお伺いしたいんですが。

齋藤委員長 佐藤課長。

佐藤商工観光課長 雇用推進室につきましては、4月1日からということで六次産業化、それから農観商工連携ということで、農観商工連携の担当が、それから企業誘致の担当があります。つきましては労働関係、企業誘致の部分ということで2つの分野を持っております。そこに室長がいるということもございます。簡単に言いますと、そういうふうなことです。

齋藤委員長 副委員長。

眞壁副委員 今、六次産業という部分が出てきたんですけれども、具体的にどんな形で仕掛けていくのかなということをお聞きします。

齋藤委員長 佐藤課長。

佐藤商工観光課長 六次産業というと、一次産業が生産で二次産業が加工ですね、三次産業が販売・サービスというので、1掛ける2掛ける3で六次産業というふうな言い方をするそうでございます。

〔発言する人あり〕

佐藤商工観光課長 そうでしたっけ、1足す2足

す3ですね。結果的に六次産業になる。それが最終的にはつくるところから売るところまでを一連の作業としてとらえているという考え方です。

齋藤委員長 副委員長。

眞壁副委員 非常にこの部分が、那須塩原市のこれからの発展の部分につながってくるんだろうと思いますので、ぜひ頑張っていたきたいということで います。

齋藤委員長 佐藤課長。

佐藤商工観光課長 実際には、ブランド品を今やっていますけれども、ブランド品につきましても、つくるだけではなくて、それを先ほど説明しましたように新しい新商品、レシピですね、そういう部分を開拓していった知名度を上げておこうということで、産学連携なんかにもう着手していると、これもございます。

以上です。

齋藤委員長 そのほかございますか。

菊地委員。

菊地委員 今のブランドのことなんですけれども、今11ブランドありますよね。もちろん付加価値の中にもあるんでしょうし、いろんなところでやっているんでしょうけれども、担当課としてのブランド品に対するお客さんの反応といえますか、認識というのはどのようにとらえているんですか。

齋藤委員長 佐藤課長。

佐藤商工観光課長 ことし4月に、東京でホビークッキングなるものを、3日間ですけれども、13万人ほど入ったイベントに参加しております。その辺のものをちょっと室長のほうから説明させていただきたい。

齋藤委員長 宇都野室長。

宇都野雇用推進室長 今、課長のほうからお話がありましたように、東京のビッグサイトにおきまして3日間、約13万人の方が訪れた中で、本市の

ブランド商品のブースを設けさせていただきました。内容的には試食の部門と、それから売れるものがございましたので、売る部門、また今回は、ハウレンソウ等がまだ出荷前でしたので、出せないものもございましたので、そういったものについてはペーパー、チラシで代表者の方にご説明をさせていただきました。

本市のブースにおいては、3日間で約1万人程度の方は訪れてくられて、内容的には那須塩原というイメージは非常に薄かったです。どこにあるんですかと、那須は知っているけれども、那須塩原というのはちょっと薄いねという感覚がございましたが、商品は知っているという方が多かったものですから、もっと私たちは各地でこういったブランド商品を、那須塩原の名をもっと覚えていただくためにPRしていくというふうに、今後の事業展開は考えております。

以上です。

齋藤委員長 菊地委員。

菊地委員 すみません、もう1点、申しわけございません。

もう1点、東京でのイベントがございました。東京の築地市場におきまして塩原高原ハウレンソウの出荷にあわせて、仲卸の買参人の方に対しまして、栃木県の東京事務所の須藤本部長と、また本市、そして開拓連農協の幹部の皆さん全員で、ハウレンソウを実際に食べていただきましてPRを進めました。

そこでの感触は、市場の方は風評被害は十分にわかっていると、そんな中で私たちもしっかり支えてあげるよということを言っていただきましたので、これに甘んじることなく、私たちはもっともっとPRに努めていきたいというふうに考えております。

以上です。

齋藤委員長 菊地委員。

菊地委員 よくわかりました。

確かに今、室長さんがおっしゃったように、那須塩原というイメージというか、どこにあるんだって、私らも行政視察なんかにもよく言われるわけなんですけれども、そうすると、必ず那須の御用邸の玄関口とか、そういうようなことでお話はするんですけれども、確かに今おっしゃったように、那須塩原のイメージを本当にアップさせなければいけないというふうに私どもも思っていますし、担当課の皆さんもそういうふうに思っているので、ぜひともそういうことをご努力をお願いしたい。

齋藤委員長 そのほかございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

齋藤委員長 それでは、ないようですので、質疑、ご意見等を終了したいと思います。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 異議ないものと認めます。

よって、討論を行います。

討論はございませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

齋藤委員長 ないようですので、討論を終結したいと思います。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 異議ないものと認め、討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第59号 平成24年度那須塩原市一般会計補正予算(第1号)については、原案のとおり可決すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

齋藤委員長 議案第59号につきましては、原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他

齋藤委員長 次に、その他に入ります。

閉会の宣告

齋藤委員長 それでは、以上をもちまして産業観  
光分所管の審査がすべて終了いたしました。

大変お疲れさまでした。

閉会 午後 2時32分